

## 対馬島の概要

- 人口:28,502人、高齢者比率:38.6%(令和2年国勢調査)
- ▶人口減少率:9.4%(平成27年→令和2年国勢調査)
  - ▶島の面積:707.42km<sup>2</sup>
  - ▶本土との航路距離:距離138km、寄港回数2便/日(厳原~博多フェリー)  
距離147km、寄港回数1便/日(比田勝~博多フェリー)
  - ▶対馬市の水産業は、対馬東沿岸・日本海を漁場の中心とするイカ釣り漁業が主体であり、その他には、東水道でのタイ、ブリ釣り漁業、西水道でのヨコワひき縄漁業、南西海域でのシイラ漬漁業、全島地先での定置網漁業が盛んに営まれている。また、林業では、島の面積のうち89%が森林(内91%が民有林、人工林率34%)からなり、対馬の林業は第1次産業の中では水産業に次ぐ第2位の産業となっている。

## 対馬島の位置図



## 取組の特色など

- ▶学校名:長崎県立対馬高等学校
- ▶生徒数:399名(うち、国際文化交流科(離島留学生)46名)  
※令和7年4月1日時点
- ▶受入開始時期:平成15年度~
- ▶学習環境等:
  - ①韓国語の語学力を習得  
ハングル能力検定3級あるいは韓国語能力試験(TOPIK)3級以上などの韓国の大学に留学できる語学力を養う。
  - ②韓国との国際交流  
対馬にある地理的・歴史的資産等の活用をとおして、韓国との国際交流を図ることのできる資質と能力を身に付ける。
  - ③韓国文化を学べる充実した教育  
韓国人講師による韓国語・韓国文化の授業、韓国での語学研修、韓国語スピーチコンテストなど。

## 学校生活の様子



釜山語学研修での一コマ



「話してみよう韓国語高校生」全国大会(スキット部門)で最優秀賞を獲得したペア(写真は九州大会のもの)

## 取組の効果

- ・令和7年3月卒業生は、13名が韓国の大学に進学
- ・TOPIK(韓国語能力試験)最上級の6級に8名が合格(令和7年度)
- ・日本と韓国の友好に尽力された高円宮殿下を記念し設立された財団法人「高円宮記念 日韓交流基金」から、これまで継続的に行われた日韓交流事業の功績が認められ、令和7年12月、第14回「高円宮賞」を受賞。

## 取組にあたり工夫した点

- ・中学生にむけた説明会、体験入学・宿泊体験の設定(宿泊体験参加者の交通費・宿泊費への補助)
- ・離島留学生のホームステイ費への補助
- ・離島留学生の帰省費の一部補助
- ・心の健康観察Webシステム「RAMPS」の活用や、「離島留学支援員」による生徒のサポート